

令和 7 年度 事業報告

令和 7 年度は、エネルギー価格の高騰や円安、中東情勢の悪化等を背景とした原材料価格の上昇、需給ひっ迫などから消費者物価指数が大きく上昇し、中でも米をはじめ、肉類や生鮮野菜等の食料が値上がりして、国民生活に大きな影響を与えた年となった。

このような情勢により、農業においては、消費者の生活防衛意識の高まりによる農畜産物の消費の低迷や、不安定な国際情勢や円安などの影響を受けた飼料・肥料等の生産資材価格の高止まりが経営を大きく圧迫する状況が続いている。

さらに、令和 7 年農林業センサス（速報値）によると本県の基幹的農業従事者数は、3 万 2,500 人余りで、5 年前から約 27%減少しており、今後産地づくりを支える人材を確保・育成し、経営の発展を図っていくことは喫緊の課題となっている。

このような中、県では、本県農業の強化に向け「いわて農業生産強化ビジョン」を令和 7 年 7 月に策定し、産地づくりを支える人材の確保・育成や、特に畜産・園芸分野の生産拡大に関係機関・団体や生産者などが一体となって取り組んでいくこととしている。

畜産分野の肉用牛については、繁殖農家の離農等による全国的な子牛の頭数不足から、価格は堅調に推移してきているものの、いまだに厳しい経営環境に置かれている生産者に対し、従来からの補給金制度と国や県が措置した緊急支援を継続して行った。

また、園芸分野においては、近年、頻発化・激甚化する異常気象が青果物等の生産・供給に大きな影響を及ぼしており、令和 7 年も全国的な夏の少雨や、記録的な猛暑が秋まで続くなどの天候不順が発生し、青果物の価格が大きく変動する状況にあったことから、生産者への支援を継続して行った。

当協会では、「いわて農業生産強化ビジョン」の目標達成に向け、そして本県農業の持続的な発展を図るため、引き続き、関係機関や団体等と密接に連携し、生産者の方々が、将来にわたり安定した農業経営を実践し、県産食料の安定的な供給が図られるよう、畜産物や青果物等の価格安定対策や生産基盤の整備を図る各種の支援対策を実施するなど、本県農業の振興のための取組を進めていく。

令和 7 年度の価格安定対策事業の加入状況については、肉用子牛個体登録頭数は、21,303 頭（前年度比 93.6%）で、青果物等申込数量は、青果物が 22,278 千 kg（同 91.8%）、切り花が 10,246 千本（同 84.6%）であった。

また、価格安定対策の補給金及び生産基盤整備等の補助金の交付総額は、前年度より 14 億 9 千万円余少ない 3 億 23 百万円余（前年度比 17.8%）で、その内訳

は、畜産部門が 2 億 4 千万円余（同 13.8%）、園芸部門が 8 千 3 百万円余（同 101.4%）であった。

具体的には、肉用子牛では、黒毛和種の平均売買価格は、子牛の頭数不足により年間を通じ保証基準価格を上回り生産者補給金の交付はなかった。

その他の肉専用種（日本短角種等）では、令和 6 年度の平均売買価格が保証基準価格を下回ったことから、950 頭に対し生産者補給金約 4,700 万円を交付した。

また、飼養管理技術の向上に取り組む生産者を支援する優良和子牛生産推進緊急支援事業において、令和 7 年 1 月から 3 月の平均価格が発動基準価格を下回った黒毛和種、3,863 頭に対し奨励金約 1 億 1,400 万円を、令和 6 年度の平均価格が発動基準価格を下回ったその他の肉専用種（日本短角種等）、773 頭に対し奨励金約 1,500 万円を交付した。

さらには、和牛繁殖経営体の生産費の上昇に対し支援する県単独事業の和牛繁殖経営支援緊急対策により、黒毛和種、褐毛和種、その他の肉専用種（日本短角種等）20,825 頭に対し、補助金約 6,200 万円を交付した。

ブロイラーについては、年間を通して指標価格が保証基準価格を上回り、補てん金の交付はなかった。

園芸部門では、野菜が春先の日照不足と梅雨明け後の高温・干ばつの影響から、出荷が伸び悩み、価格は概ね堅調に推移したものの、価格が下落した一部の品目、ピーマン、レタス、また、花きでは小菊などを対象として、補給金約 2,400 万円（青果物等経営安定支援事業を含む、前年度比 168.4%）を交付した。

また、果樹については、例年と同様、改植・新植（採択 12.9ha）や優良品種等への改植後の経営安定（同 12.9ha）を支援した。

以下、令和 7 年度事業の詳細について報告する。

I 令和7年度事業実績について

1. 経営安定を図る事業

(1) 価格安定事業

ア 肉用子牛生産者補給金制度（第8業務対象年間〔令和7年度～令和11年度〕の初年度）

本制度は、肉用子牛生産者の経営安定を図るため、市場価格が保証基準価格を下回った場合に補給金を交付するもので、令和7年度は、第8業務対象年間の初年度であり、引き続き制度への加入を推進した。

令和7年度の子牛個体登録頭数は、黒毛和種が18,744頭（前年度比92.9%）、褐毛和種が23頭（前年度比79.3%）、その他の肉専用種（日本短角種等）が883頭（前年度比94.3%）、乳用種が21頭（前年度比175.0%）、乳交雑種が1,632頭（前年度比101.6%）となり、全体では21,303頭（前年度比93.6%）となった。

生産者積立金の造成額は、52,199,800円（前年度比94.4%）となった。

令和7年度の肉用子牛の平均売買価格は、繁殖農家の離農等による全国的な頭数不足から、昨年度末以降価格が堅調に推移した。

黒毛和種では、6月には2年3か月ぶりに60万円台に回復。7月以降も長期化する頭数不足を見込み、肥育農家の買いが強まったこと、その後も頭数不足が長期化していることに加え、牛肉の最需要期で枝肉価格が上昇したことにより肥育農家の導入意欲も強まったことから、年間を通じ保証基準価格を上回り、補給金の交付はなかった。

その他の肉専用種は、令和6年度の平均売買価格は、令和7年4月に278,100円／頭となり、保証基準価格を下回ったことから、販売・保留した950頭に対し、補給金47,405,000円（前年度比52.7%）を交付した。

また、令和7年度の平均売買価格は、10月以降の短角市場の価格が384千円程度（保証基準価格は334千円／頭）となったが、年間を通じた算定となっていることから補給金の確定・交付は次年度となる。

褐毛和種、乳用種及び乳交雑種は、平均売買価格が保証基準価格を上回ったため、補給金の交付はなかった。

全体では、販売・保留した950頭に対し、補給金47,405,000円（前年度比6.4%）を交付した。

(7) 生産者補給金交付契約者数

(単位：件)

区 分	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	累 計	備考 (令和 6 年度)
個 人	2,652					2,652	(3,905)
農 協	0					0	(0)
農 協 連	1					1	(1)
農 事 組 合 法 人	4					4	(5)
合 名 ・ 合 資	3					3	(3)
株 式 会 社	39					39	(38)
有 限 会 社	17					17	(18)
民 法 法 人	1					1	(2)
合 計	2,717					2,717	(3,972)

※ 上記の農協連は、全農岩手県本部

(イ) 契約肉用子牛個体登録頭数

(単位：頭)

区 分 品種区分	第4四半期 令和 7 年 1 月 1 日 ～ 3 月 31 日	第1四半期 令和 7 年 4 月 1 日 ～ 6 月 30 日	第2四半期 令和 7 年 7 月 1 日 ～ 9 月 30 日	第3四半期 令和 7 年 10 月 1 日 ～ 12 月 31 日	合 計
黒 毛 和 種	5,397	4,524	4,330	4,493	18,744
褐 毛 和 種	0	1	8	14	23
その他の肉専用種	24	6	663	190	883
乳 用 種	0	10	11	0	21
乳 交 雑 種	523	417	388	304	1,632
合 計	5,944	4,958	5,400	5,001	21,303

(ウ) 生産者積立金の造成

(単位：頭、円)

品 種 区 分	個体登 録	個体 登録頭数	1 頭 当 た り 積 立 金	生産者 積立金	負担区分		
					生産者 (1/4)	岩手県 (1/4)	機 構 (1/2)
黒毛和種	1月～3月	5,397	1,600	8,635,200	2,158,800	2,158,800	4,317,600
	4月～12月	13,347	1,600	21,355,200	5,338,800	5,338,800	10,677,600
	計	18,744	-	29,990,400	7,497,600	7,497,600	14,995,200
褐毛和種	1月～3月	0	6,000	0	0	0	0
	4月～12月	23	6,000	138,000	34,500	34,500	69,000
	計	23	-	138,000	34,500	34,500	69,000

(単位：頭、円)

品 種 区 分	個 体 登 録	個 体 登 録 頭 数	1 頭 当 た り 積 立 金	生 産 者 積 立 金	負 担 区 分		
					生 産 者 (1/4)	岩 手 県 (1/4)	機 構 (1/2)
そ の 他 の 肉 専 用 種	1月～3月	24	18,800	451,200	112,800	112,800	225,600
	4月～12月	859	20,000	17,180,000	4,295,000	4,295,000	8,590,000
	計	883	-	17,631,200	4,407,800	4,407,800	8,815,600
乳 用 種	1月～3月	0	6,800	0	0	0	0
	4月～12月	21	5,000	105,000	26,250	26,250	52,500
	計	21	-	105,000	26,250	26,250	52,500
乳 交 雑 種	1月～3月	523	3,200	1,673,600	418,400	418,400	836,800
	4月～12月	1,109	2,400	2,661,600	665,400	665,400	1,330,800
	計	1,632	-	4,335,200	1,083,800	1,083,800	2,167,600
合 計	1月～3月	5,944	-	10,760,000	2,690,000	2,690,000	5,380,000
	4月～12月	15,359	-	41,439,800	10,359,950	10,359,950	20,719,900
	計	21,303	-	52,199,800	13,049,950	13,049,950	26,099,900

(エ) 平均売買価格

(単位：円／頭)

品 種 区 分 \ 区 分	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
	令和7年 1月1日 ～ 3月31日	令和7年 4月1日 ～ 6月30日	令和7年 7月1日 ～ 9月30日	令和7年 10月1日 ～ 12月31日
黒 毛 和 種	589,700	650,900	647,800	751,500
褐 毛 和 種	670,700	621,100	610,600	652,900
その他の肉専用種	278,100	—		
乳 用 種	205,200	254,700	220,600	218,000
乳 交 雑 種	389,400	382,500	392,800	448,500

※その他の肉専用種は、令和6年度第1～4四半期分（令和6年4月～令和7年3月分）

(オ) 生産者補給金の交付状況

(単位：頭、円、件)

区 分			第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	合 計	
			令和7年 1月1日 ～ 3月31日	令和7年 4月1日 ～ 6月30日	令和7年 7月1日 ～ 9月30日	令和7年 10月1日 ～ 12月31日		
黒毛 和種	交付対象 頭 数 ①	販売	—	—	—	—	—	
		保留	—	—	—	—	—	
		合計	—	—	—	—	—	
	②生産者補給金単価（円／頭）		—	—	—	—	—	
	③生産者補給金交付額（①×②）		—	—	—	—	—	
	交付対象生産者数		—	—	—	—	—	
褐毛 和種	交付対象 頭 数 ①	販売	—	—	—	—	—	
		保留	—	—	—	—	—	
		合計	—	—	—	—	—	
	②生産者補給金単価（円／頭）		—	—	—	—	—	
	③生産者補給金交付額（①×②）		—	—	—	—	—	
	交付対象生産者数		—	—	—	—	—	
その他の肉専用種	交付対象 頭 数 ①	販売	773	—				773
		保留	177					177
		合計	950					950
	② 生産者補給金単価（円／頭）		49,900					—
	③ 生産者補給金交付額（①×②）		47,405,000					47,405,000
	交付対象生産者数		134					134
乳用種	交付対象 頭 数 ①	販売	—	—	—	—	—	
		保留	—	—	—	—	—	
		合計	—	—	—	—	—	
	②生産者補給金単価（円／頭）		—	—	—	—	—	
	③生産者補給金交付額（①×②）		—	—	—	—	—	
	交付対象生産者数		—	—	—	—	—	
乳交雑種	交付対象 頭 数 ①	販売	—	—	—	—	—	
		保留	—	—	—	—	—	
		合計	—	—	—	—	—	
	②生産者補給金単価（円／頭）		—	—	—	—	—	
	③生産者補給金交付額（①×②）		—	—	—	—	—	
	交付対象生産者数		—	—	—	—	—	
合 計	交付対象 頭 数	販売	773	—	—	—	773	
		保留	177	—	—	—	177	
		合計	950	—	—	—	950	
	生産者補給金交付額		47,405,000	—	—	—	47,405,000	
	交付対象生産者数		134	—	—	—	134	

※その他の肉専用種は、令和6年度第1～4四半期分（令和6年4月～令和7年3月分）

(参考１) 保証基準価格と合理化目標価格 (単位：円／頭)

品 種 区 分	保 証 基 準 価 格	合 理 化 目 標 価 格	備 考
黒 毛 和 種	564,000	444,000	
	574,000	446,000	
褐 毛 和 種	514,000	404,000	
	523,000	406,000	
その他の肉専用種	328,000	258,000	日本短角種等
	334,000	259,000	
乳 用 種	164,000	110,000	
	164,000	110,000	
乳 交 雑 種	274,000	216,000	乳用種を母とする交雑種
	274,000	216,000	

※上段の価格は、令和７年３月３１日まで適用

下段の価格は、令和７年４月１日から適用

(参考２) 指定肉用子牛の規格

肉 用 子 牛 の 種 類	体 重
黒 毛 和 種	230kg 以上 350kg 以下
褐 毛 和 種	240kg 以上 370kg 以下
無 角 和 種	220kg 以上 330kg 以下
日 本 短 角 種	180kg 以上 310kg 以下
アンガス種及びヘレフォード種	260kg 以上 310kg 以下
ホルスタイン種（雌を除く）	240kg 以上 360kg 以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	270kg 以上 370kg 以下

(カ) 生産者積立金等の収支状況

(単位：円)

区 分			黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	乳交雑種	合計	
期首残高	(1)生産者積立金		0	0	0	0	0	0	
	(2)生産者積立準備金		440,528,215					440,528,215	
	内訳	(3)生産者	205,809,439					205,809,439	
		(4)岩手県	48,656,719	325,538	27,818,036	4,842,400	7,601,043	89,243,736	
		(5)農畜産業振興機構	86,075,676	645,056	38,739,805	6,579,606	13,434,897	145,475,040	
生産者積立金積立実績	(6)生産者積立金増加額 (9)+(12)+(15)		23,768,400	114,000	13,817,200	105,000	3,419,800	41,224,400	
	(7)積立準備金からの繰入 (10)+(13)+(16)		6,222,000	24,000	3,814,000	0	915,400	10,975,400	
	(8) 計		29,990,400	138,000	17,631,200	105,000	4,335,200	52,199,800	
	内訳	生産者	(9)負担金	2,173,200	10,500	593,800	26,250	350,800	3,154,550
			(10)積立準備金〔(3)からの繰入額〕	5,324,400	24,000	3,814,000	0	733,000	9,895,400
			(11)小計	7,497,600	34,500	4,407,800	26,250	1,083,800	13,049,950
		岩手県	(12)積立助成金	6,600,000	34,500	4,407,800	26,250	901,400	11,969,950
			(13)積立準備金〔(4)からの繰入額〕	897,600	0	0	0	182,400	1,080,000
			(14)小計	7,497,600	34,500	4,407,800	26,250	1,083,800	13,049,950
		機構	(15)積立助成金	14,995,200	69,000	8,815,600	52,500	2,167,600	26,099,900
			(16)積立準備金〔(5)からの繰入額〕	0	0	0	0	0	0
			(17)小計	14,995,200	69,000	8,815,600	52,500	2,167,600	26,099,900
	他の資金からの繰入状況等	(18)特別の積立金から生産者積立金へ繰入れた金額		0	0	0	0	0	0
(19)調整積立金から生産者積立金へ繰入れた金額		0	0	0	0	0	0		
(20)生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額		0	0	0	0	0	0		
(21)生産者積立金に係る運用益		30,473	124	16,585	94	4,527	51,803		
(22)生産者積立準備金に係る運用果実		327,255					327,255		
(23)生産者補給金交付額（生産者積立金部分）		0	0	0	0	0	0		
(24)生産者積立金からの借入金返済額		0	0	0	0	0	0		
(25)生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額		0	0	0	0	0	0		
返 還	(26)生産者積立準備金（生産者）		33,742,431					33,742,431	
	(27)生産者積立準備金（岩手県）		37,656,719	213,038	20,318,036	4,654,900	6,176,043	69,018,736	
	(28)生産者積立準備金（農畜産業振興機構）		86,098,555	645,227	38,750,102	6,581,355	13,438,468	145,513,707	
期末残高	(29)生産者積立金 (1)+(8)+(18)+(19)+(20)+(21)-(23)-(24)-(25)		30,020,873	138,124	17,647,785	105,094	4,339,727	52,251,603	
	(30)生産者積立準備金 (2)-(7)+(22)+(25)-(26)-(27)-(28)		181,605,196					181,605,196	
	内訳	(31)生産者 (3)-(10)+〔(22)(25)生産者分〕-(26)	162,430,474					162,430,474	
		(32)岩手県 (4)-(13)+〔(22)(25)岩手県分〕-(27)	10,118,171	112,673	7,511,531	187,788	1,244,559	19,174,722	
		(33)農畜産業振興機構 (5)-(16)+〔(22)(25)機構分〕-(28)	0	0	0	0	0	0	

イ 優良和子牛生産推進緊急支援事業

本事業は、肉用牛生産基盤の強化を図るため、「添加物による栄養補助」、「母牛・子牛の疾病防止のワクチン接種」などの飼養管理向上のための取組を行う生産者が販売した和子牛に対し、ブロック別又は全国の平均価格が発動基準価格を下回った場合に奨励金を交付するものである。

令和7年度の品種別の実施状況は、黒毛和種で令和7年1月～3月の平均価格が発動基準価格を下回ったことから、販売した3,863頭に対し、奨励金114,730,000円（前年度比30.2%）を交付した。

褐毛和種は、平均価格が発動基準価格を上回ったため、奨励金の交付はなかった。

その他の肉専用種は、令和6年度の平均価格は、令和7年4月に278,100円／頭となり、発動基準価格を下回ったことから、販売した773頭に対し、奨励金15,460,000円を交付した。

また、令和7年度の平均売買価格は、10月以降の短角市場の価格が384千円程度（発動基準価格は360千円／頭）となったが、年間を通じた算定となっていることから補給金の確定・交付は次年度となる。

全体では、販売した4,636頭に対し、奨励金130,190,000円（前年度比34.3%）を交付した。

(7) 平均価格の推移

（単位：円／頭）

品種区分	対象期間	平均価格
黒毛和種	令和7年 1月～3月	569,606
	令和7年 4月～6月	615,485
	令和7年 7月～9月	636,495
	令和7年 10月～12月	724,160
褐毛和種	令和7年 1月～3月	670,700
	令和7年 4月～6月	621,100
	令和7年 7月～9月	610,600
	令和7年 10月～12月	652,900
その他の肉専用種（無角和種、日本短角種及び和牛間交雑種）	令和6年4月～ 令和7年3月	278,100

注1 平均価格は、黒毛和種については東北ブロック、褐毛和種とその他の肉専用種については全国で算定

注2 算定期間は、黒毛和種及び褐毛和種は四半期毎、その他の肉専用種は年間

(イ) 奨励金交付状況

(単位：頭、円)

品種区分	対象期間	取組数別 奨励金単価		交付対象 販売頭数	奨励金交付額	交付対象 生産者数
		取組数	奨励金 単価			
黒毛和種	令和7年 1月～3月	2	10,000	27	270,000	17
		3	20,000	62	1,240,000	39
		4以上	30,000	3,774	113,220,000	1,423
		計	-	3,863	114,730,000	1,479
	令和7年 4月～6月	2	10,000	-	-	-
		3	20,000	-	-	-
		4以上	30,000	-	-	-
		計	-	-	-	-
	令和7年 7月～9月	2	10,000	-	-	-
		3	20,000	-	-	-
		4以上	30,000	-	-	-
		計	-	-	-	-
	令和7年 10月～12月	2	10,000	-	-	-
		3	20,000	-	-	-
		4以上	30,000	-	-	-
		計	-	-	-	-
	計	-	-	3,863	114,730,000	1,479
褐毛和種	令和7年 1月～3月	2	10,000	-	-	-
		3	20,000	-	-	-
		4以上	30,000	-	-	-
		計	-	-	-	-
	令和7年 4月～6月	2	10,000	-	-	-
		3	20,000	-	-	-
		4以上	30,000	-	-	-
		計	-	-	-	-
	令和7年 7月～9月	2	10,000	-	-	-
		3	20,000	-	-	-
		4以上	30,000	-	-	-
		計	-	-	-	-
	令和7年 10月～12月	2	10,000	-	-	-
		3	20,000	-	-	-
		4以上	30,000	-	-	-
		計	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-

(単位：頭、円)

品 種 区 分	対 象 期 間	取組数別 奨励金単価		交 付 対 象 販 売 頭 数	奨励金交付額	交 付 対 象 生 産 者 数
		取組数	奨励金 単価			
その他の 肉専用種 （無角和 種、日本短 角種及び 和牛間交 雑種）	令和 6 年 4 月～ 令和 7 年 3 月	2	10,000	－	－	－
		3 以上	20,000	773	15,460,000	160
		計	－	773	15,460,000	160
合 計				4,636	130,190,000	1,639

(参考1) 発動基準価格

(単位：円／頭)

品種区分	発動基準価格		
	A	B	C
黒毛和種	600,000	580,000	570,000
	610,000	590,000	580,000
褐毛和種	550,000	530,000	520,000
	560,000	540,000	530,000
その他の肉専用種（無角和種、 日本短角種及び和牛間交雑種）	350,000	330,000	—
	360,000	340,000	—

※上段の価格は、令和7年3月31日まで適用

下段の価格は、令和7年4月1日から適用

(参考2) 奨励金単価

(単位：円／頭)

条 件		奨励金単価
平均価格が発動基準価格Aを下回る場合		
・飼養管理向上のための取組を2つ以上実施する者		10,000
平均価格が発動基準価格Bを下回る場合		
・飼養管理向上のための取組を2つ実施する者		10,000
・飼養管理向上のための取組を3つ以上実施する者		20,000
平均価格が発動基準価格Cを下回る場合		
・飼養管理向上のための取組を2つ実施する者		10,000
・飼養管理向上のための取組を3つ実施する者		20,000
・飼養管理向上のための取組を4つ以上実施する者		30,000

ウ 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業

飼料価格の高止まり等により、繁殖農家の生産基盤が危機的状況にあるため、和子牛産地の基盤強化につながる「地域内自給飼料の生産・利用」、「早期出荷に向けた地域内一貫生産」等の取組を行う生産者が販売・保留した和子牛に対し、ブロック別又は全国平均価格が発動基準価格を下回った場合に奨励金（１万円／頭）を交付するものである。

令和７年度の品種別の実施状況は、黒毛和種及び褐毛和種の平均価格が発動基準価格を上回ったことから、奨励金の交付はなかった。

その他の肉専用種の令和７年度の平均売買価格は、令和７年１０月以降の短角市場の価格が３８４千円程度（発動基準価格は３６０千円／頭）となったが、年間を通じた算定となっていることから奨励金の確定・交付は次年度となる。

(7) 平均価格の推移

（単位：円／頭）

品種区分	対象期間	平均価格
黒毛和種	令和７年 ４月～６月	615,485
	令和７年 ７月～９月	636,495
	令和７年 １０月～１２月	724,160
褐毛和種	令和７年 ４月～６月	621,100
	令和７年 ７月～９月	610,600
	令和７年 １０月～１２月	652,900

注１ 平均価格は、黒毛和種については東北ブロック、褐毛和種とその他の肉専用種については全国で算定

注２ 算定期間は、黒毛和種及び褐毛和種は四半期毎、その他の肉専用種は年間

(イ) 奨励金交付状況

（単位：頭、円）

品種区分	対象期間	奨励金 単 価	交付対象頭数			奨励金 交付額	交付対象 生産者数
			販売	保留	計		
黒毛和種	令和７年 ４月～６月	10,000	-	-	-	-	-
	令和７年 ７月～９月	10,000	-	-	-	-	-
	令和７年 １０月～１２月	10,000	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-

(単位：頭、円)

品種区分	対象期間	奨励金 単 価	交付対象頭数			奨励金 交付額	交付対象 生産者数
			販売	保留	計		
褐毛和種	令和7年 4月～6月	10,000	-	-	-	-	-
	令和7年 7月～9月	10,000	-	-	-	-	-
	令和7年 10月～12月	10,000	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-

(参考1) 発動基準価格 (単位：円／頭)

品種区分	発動基準価格
黒毛和種	610,000
褐毛和種	560,000
その他の肉専用種（無角和種、 日本短角種及び和牛間交雑種）	360,000

エ 和牛繁殖経営支援緊急対策（県単独事業）

本事業は、世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇等による飼料や資材価格の高止まりの影響を受け、和牛繁殖経営体が厳しい環境に置かれているため、和子牛の生産基盤の強化に向け、和牛繁殖経営体の生産費の上昇に対し支援する必要があることから、令和6年4月～令和7年3月までに、「和子牛を保留した生産者」及び「優良和子牛生産推進緊急支援事業での飼養管理向上のための取組を実施した上で和子牛を販売した生産者」に対し1頭当たり3,000円を交付するものである。

令和7年度の実施状況は、黒毛和種、褐毛和種及びその他の肉専用種の販売・保留した20,825頭に対し、補助金62,475,000円を交付した。

(7) 補助金交付状況

(単位：頭、円)

品種区分	対象期間	奨励金 単 価	交付対象頭数			補助金 交付額	交付 対象 生産 者数
			販売	保留	計		
黒毛和種	令和6年4月～ 令和7年3月	3,000	16,639	3,210	19,849	59,547,000	2,610
褐毛和種	令和6年4月～ 令和7年3月	3,000	26	0	26	78,000	9
その他の肉専用種 （無角和種、日本 短角種及び和牛間 交雑種）	令和6年4月～ 令和7年3月	3,000	773	177	950	2,850,000	134
合 計			17,438	3,387	20,825	62,475,000	2,753

オ ブロイラー価格安定対策事業（第9業務対象年間〔令和5年度～令和7年度〕の最終年度）

本事業は、ブロイラー生産者の経営安定を図るため、指標価格が保証基準価格を下回った場合に補てん金を交付するものである。

令和7年度の計画羽数は、121,642,000羽（前年度比100.2%）で、積立金額は、608,210,000円（前年度比100.2%）となった。

ブロイラー価格は、食鳥相場の上昇で消費が鈍化する懸念もあったが、主要輸入先のブラジルで鳥インフルエンザが発生した影響から、現地価格の高止まりにより、輸入量が大きく減少したことに加え、国産豚肉の価格高騰による代替需要の後押しもあり、指標価格は前年を大きく上回り、指標価格が保証基準価格を上回ったことから、補てん金の交付はなかった。

(ア) 計画羽数 (単位：羽)

計画羽数	121,642,000
------	-------------

(イ) 積立金の造成 (単位：円)

区 分	積立金	積立（補助）内訳			
		生産者 (3/8)	岩手県チキン 協同組合 (3.5/8)	市町村 (0.5/8)	県 (1/8)
積立単価 (円/羽)	5	1.875	2.1875	0.3125	0.625
121,642,000羽	608,210,000	228,078,750	266,091,875	38,013,125	76,026,250

(ウ) 指標価格 (単位：円/kg)

令和7年 4月	令和7年 5月	令和7年 6月	令和7年 7月	令和7年 8月	令和7年 9月	指標価格の算出方法： 東京荷受市場における「もも肉」、「むね肉」 の正肉1kg当たりの加重平均価格にそ れぞれの部位別割合 0.46及び0.54を乗じ て得た額の総和
606	655	668	665	661	655	
令和7年 10月	令和7年 11月	令和7年 12月	令和8年 1月	令和8年 2月	令和8年 3月	
635	630	645	668	660	652	

(エ) 補てん金の交付状況 (単位：羽、円)

区 分		交付対象羽数及び補てん金単価		補てん金交付額
		羽 数	単 価 (円/羽)	
第 1 四半期	令和7年 4月	—	—	—
	〃 5月	—	—	—
	〃 6月	—	—	—
第 2 四半期	〃 7月	—	—	—
	〃 8月	—	—	—
	〃 9月	—	—	—

(単位：羽、円)

区 分		交付対象羽数及び補てん金単価		補てん金交付額
		羽 数	単 価 (円／羽)	
第 3 四半期	令和 7 年 10 月	-	-	-
	〃 11 月	-	-	-
	〃 12 月	-	-	-
第 4 四半期	令和 8 年 1 月	-	-	-
	〃 2 月	-	-	-
	〃 3 月	-	-	-
合 計		-	-	-

(参考) 保証基準価格及び保証下限価格

(単位：円／kg)

保証基準価格	保証下限価格
524	517
534	527

※上段の価格は、令和 7 年 6 月 3 0 日まで適用

下段の価格は、令和 7 年 7 月 1 日から適用

(オ) 積立金等の収支状況

(単位：円)

区 分	積立金	準備金	合 計
前期繰越額	344,766,118	165,472	344,931,590
積立金造成額	608,044,528	-	608,044,528
準備金より繰入額	165,472	-	165,472
積立金へ繰入額	-	165,472	165,472
準備金返還額	-	-	-
運用益	565,468	41	565,509
交付額	0	-	0
準備金へ繰入額	953,541,586	-	953,541,586
積立金より繰入額	-	953,541,586	953,541,586
次期繰越額	0	953,541,627	953,541,627

カ 青果物等価格安定事業

本事業は、生産者が農協、全農岩手県本部を通じて出荷した青果物等の価格が下落した場合に、補給金の交付を通じて経営の安定を支援するもので、指定野菜価格安定対策事業、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業、県単青果物等価格安定事業の3事業で構成されている。

(ア) 申込数量と資金造成額

令和7年度の申込数量は、青果物 22,278,000kg(前年度比 91.8%)、切花（りんどう・小菊）10,246,000 本(前年度比 84.6%)で、資金造成額は 1,558,136,633 円(前年度比 97.7%)であった。

事業別申込数量と資金造成額 (単位：円、%)

事業名	申込数量	前年度比	資金造成額	前年度比
県単青果物等 (青果物)	(1,694,000 kg)	(84.1)	145,812,800 (84,228,800)	93.5 (90.5)
(切花)	(10,246,000 本)	(84.6)	(61,584,000)	(98.0)
特定野菜等育成	2,293,000 kg	93.7	200,205,833	100.6
指定野菜	18,291,000 kg	92.4	1,212,118,000	97.7
合計			1,558,136,633	97.7
(青果物)	(22,278,000 kg)	(91.8)	(1,496,552,633)	(97.7)
(切花)	(10,246,000 本)	(84.6)	(61,584,000)	(98.0)

(イ) 野菜等の販売状況及び補給金等の交付状況

野菜は、春先の日照不足と梅雨明け後の高温・干ばつの影響から出荷が伸び悩んだが、その後は潤沢な出荷となり、価格は概ね堅調な相場で推移した。

花きは、6、7月の高温・干ばつにより若干の生育遅れはあったものの昨年度よりも需要期にあった出荷となった。

このことから野菜は価格が下落した一部の品目、ピーマン、レタスなどを対象として補給金 20,853,241 円（前年度比 171.7%）を交付した。

花きは、需要期を過ぎ価格が下落した小菊、りんどうに対し、補給金 1,842,886円（前年度比117.5%）を交付した。

全体では、補給金22,696,127円（前年度比165.5%）を交付した。

事業別補給金等交付額 (単位：円、%)

事業名	交 付 額	前年度比
県 単 青 果 物 等	3,633,880	83.3
（青果物）	(1,790,994)	(64.1)
（花 き）	(1,842,886)	(117.5)
特 定 野 菜 等 育 成	10,458,247	495.0
指 定 野 菜	8,604,000	118.8
合 計	22,696,127	165.5
（青果物）	(20,853,241)	(171.7)
（花 き）	(1,842,886)	(117.5)

品目別補給金等交付額 (単位：円、%)

品 目	交 付 額	構成比	前年度比
1.ピーマン	10,241,354	45.1	－
2.レタス（結球）	4,841,484	21.3	94.2
3.レタス（非結球）	4,038,810	17.8	448.8
4.小菊	1,394,579	6.2	88.9
5.ブロッコリー	657,604	2.9	54.5
6.その他	1,522,296	6.7	－
合 計	22,696,127	100.0	160.6

キ 青果物等経営安定支援事業

本事業は、青果物等価格安定事業を補完することを目的とする事業である。

(ア) 通常補給金加算

本事業は、補てん率が80%である特定野菜等育成事業及び県単青果物等事業の品目に対し10%の補給金を加算交付するもので、令和7年度は、ピーマン・小菊等に対して補給金1,761,699円（前年度比217.6%）を交付した。

(イ) 異常低落時補給金交付

本事業は、青果物等価格安定対策事業の対象野菜等の価格が最低基準額を下回った場合に補給金を交付するもので、令和7年度は、りんどうに対して補給金5,388円（前年度比4,209.4%）を交付した。

事業別補給金交付額 (単位：円、%)

事業名	交付額			前年度比
	通常加算	異常低落	計	
県 単 青 果 物 等	455,267	5,388	460,655	84.5
特 定 野 菜 等 育 成	1,306,432	0	1,306,432	494.3
指 定 野 菜	－	0	0	－
計	1,761,699	5,388	1,767,087	218.3

品目別補給金交付額

(単位：円、%)

品 目	交 付 額			前年度比
	通常加算	異常低落	計	
1. ピーマン	1,279,317	0	1,279,317	-
2. 小菊	229,347	0	229,347	117.1
3. 生しいたけ	112,336	0	112,336	49.9
4. ブロッコリー	82,192	0	82,192	54.5
5. レタス（結球）	30,218	0	30,218	188.6
6. その他	28,289	5,388	33,677	-
合 計	1,761,699	5,388	1,767,087	218.3

(2) 生産基盤強化事業

ア 肉用牛繁殖経営サポート事業

本事業は、黒毛和種繁殖経営の生産性向上や増頭による所得拡大を支援するものである。

令和7年度は、生産者個々の繁殖成績や枝肉情報等を記載した「モットー君通信簿」を肉用子牛生産者補給金制度加入生産者（2,108戸）に提供した。

イ 果樹農業生産力増強総合対策事業

(ア) 果樹経営支援対策事業

本事業は、産地が策定した「果樹産地構造改革計画」に基づき、生産者が行う果樹の改植・新植や小規模園地整備等を支援するものである。

a 事業実施計画の承認

6農協管内の7産地協議会における改植10.1ha（りんご9.4ha、もも0.4ha、ぶどう0.3ha）、新植2.8ha（りんご1.7ha、ぶどう0.9ha、もも0.2ha）、小規模園地整備1.5ha等の取組に対し、補助金44,525,605円（前年度比124.7%）の計画を承認した。

なお、補助金の確定・交付は、取組が完了した後の次年度となる。

令和7年度補助金計画額

(単位：円)

事業費	補助金計画額
50,507,211	44,525,605

b 補助金交付

令和6年度に計画を承認した、5農協管内の7産地協議会におけるりんごの改植7.3ha、ぶどうの改植0.5ha、りんご等の新植3.1ha、小規模園地整備0.7ha等の取組が完了し、補助金34,966,785円（前年度比86.1%）を交付した。

補助金交付額		(単位：円)
区 分	事業費	補助金交付額
令和 6 年度計画承認分	35,699,096	34,966,785

(イ) 果樹未収益期間支援事業

本事業は、果樹経営支援対策事業により優良品種等に改植・新植した後、十分な収量が得られるまでの期間(4年間)における経費の一部を補助するものである。

a 事業実施計画の承認

6農協管内の7産地協議会における改植10.1ha(りんご9.4ha、もも0.4ha、ぶどう0.3ha)、新植2.8ha(りんご1.7ha、ぶどう0.9ha、もも0.2ha)の取組に対し、補助金27,635,880円(前年度比112.4%)の計画を承認した。

なお、補助金の確定・交付は、取組が完了した後の次年度となる。

令和 7 年度補助金計画額		(単位：円)
事業費	補助金計画額	
28,417,400	27,635,880	

b 補助金交付

令和6年度に計画を承認した、5農協管内の7産地協議会におけるりんごの改植7.3ha、ぶどうの改植0.5ha、りんご等の新植3.1ha等に対し、補助金23,937,960円(前年度比88.3%)を交付した。

補助金交付額		(単位：円)
区 分	事業費	補助金交付額
令和 6 年度計画承認分	24,137,300	23,937,960

2. その他、関連事業

(1) 事業運営委員会の開催

ブローラー価格安定対策事業運営委員会

ブローラー価格安定対策事業の実施事業、第9業務対象年間(令和5年度～令和7年度)に係る令和7年度の保証基準価格及び保証下限価格の改定について、県・市町村・関係団体等の課長等で構成する運営委員会で協議を行った。

(2) 事業推進会議の開催

農畜産物価格安定対策の円滑な推進や、適正な事務処理が実施できるよう、事務委託先等の実務担当者と連携を密にするとともに、事務委託先に outward 調査指導等を行った際に、未加入生産者への加入推進をお願いした。

(3) 第27回全国果樹技術・経営コンクール

生産技術や経営方式等において、他の模範となる先進的な農業者、生産者団体を表彰するコンクール（公益財団法人中央果実協会等果樹関係5団体の主催）が開催されたが、農協等からの応募がなかったことから本年度の参加は見合わせた。

(4) 共進会への協賛

県内各区域において開催される畜産共進会に協賛し、入賞者に褒賞を授与した。

※褒賞を授与した地区 14地区

(5) 広報活動

畜産物や青果物における平均売買価格や補給金交付単価、補給金等の交付状況及び新規事業等の情報をホームページへリアルタイムで掲載し、安定した農業経営の確立を支援した。

また、事業に関する諸様式等の情報も併せてホームページに掲載し、事業の円滑かつ効率的な運営を支援した。

3. 運営体制の充実を図るための取組

(1) 外部理事の選任

外部理事について、役員選任規程を設けて選任している。

(2) 公認会計士による指導

適正な経理や公益社団法人としての関係法令への適正な対応をするため、公認会計士による定期的な指導を受けた。

Ⅱ 事業推進経過

1. 全体事項

年 月 日	処 理 事 項	場 所
7. 5. 1	公認会計士による会計指導	第二産業会館
5. 20	監事監査（神田監事、荒木田監事、佐々木監事）	第二産業会館
5. 23	役員候補者推薦会議	第二産業会館
6. 5	役員候補者推薦会議	第二産業会館
6. 10	第1回理事会	産業会館
6. 12	令和7年度 いわて農林水産振興協議会総会	水産会館
6. 27	第55回定時総会	産業会館
7. 14	第2回理事会（決議の省略）	—
10. 20	公認会計士による会計指導	第二産業会館
11. 7	第3回理事会	産業会館
12. 23	令和7年度いわて農林水産躍進大会	岩手県民会館
8. 3. 4	公認会計士による会計指導	オンライン対応
3. 24	第4回理事会	産業会館

2. 畜産関係

年 月 日	処 理 事 項	場 所
7. 4. 24	令和7年度肉用子牛関連事業に係る担当者会議	アピオ
4. 25	令和7年度畜産酪農飼料事業推進会議	アートホテル盛岡
5. 8	岩手県ブロイラー価格安定対策事業に係る説明会	二戸地区合同庁舎
5. 9	岩手県ブロイラー価格安定対策事業に係る説明会	一関地区合同庁舎
5. 14	令和7年度ブロイラー価格安定対策事業運営委員会	産業会館
5. 16	第11回肉用牛関係事業等に関する情報連絡会議	オンライン参加
5. 20	令和7年度いわて牛普及推進協議会第1回幹事会及び短角牛部会	産業会館

年 月 日	処 理 事 項	場 所
6. 5	(一社) 全国肉用牛振興基金協会 令和7年度第1回理事会	東京都
6. 5	令和7年度和牛登記登録事務研修会	全農いわて 中央家畜市場
6. 6	令和7年度いわて牛普及推進協議会総会	水産会館
6. 25	(一社) 全国肉用牛振興基金協会 令和7年度定時総会	東京都
6. 27	(一社) 岩手県畜産協会 第93回定時総会	産業会館
8. 8	令和7年度肉用牛経営安定対策補完事業(地域における肉用牛生産 基盤強化等対策事業)に係る推進会議	アピオ
8. 27	日本短角種振興協議会 第40回通常総会	青森県
9. 1	令和7年度短角市場運営会議	全農いわて 中央家畜市場
9. 2	岩手県家畜及び鶏の改良増殖計画(案)の策定に係る意見交換	第二産業会館
10. 9	令和7年度 肉用子牛価格安定基金北海道・東北ブロック研修会 (～10/10)	青森県
12. 9	令和7年度肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン)に係る推 進会議	アピオ
12. 10	令和7年度肉用子牛生産者補給金制度等に係る現地 調査(～12/12)	第二産業会館等
8. 1. 15	肉用子牛生産者補給金制度等に係る基礎研修会	オンライン参加
1. 19	令和7年度いわて牛の集い	東京都
1. 20	第36回いわて牛枝肉共励会	東京都
2. 10	肉用子牛生産者補給金制度等に係る担当者会議	オンライン開催
2. 18	令和7年度環境調和型持続的肉用牛生産体制推進事業に係る第3回 オンライン情報交換会	オンライン参加
3. 16	(一社) 岩手県畜産協会 令和7年度臨時総会	産業会館
3. 18	(一社) 全国肉用牛振興基金協会 令和7年度第2回理事会	東京都

3. 園芸関係

年 月 日	処 理 事 項	場 所
7. 4. 25	青果物等価格安定事業に係る担当者研修会	新岩手農協
5. 9	重要野菜等の生産出荷等状況の現地確認 (5/9～12/3 のべ19回実施)	新岩手農協 他
5. 15	令和7年度野菜価格安定対策事業実務担当者説明会 (～5/16)	オンライン参加

年 月 日	処 理 事 項	場 所
5. 16	令和7年度指定野菜価格安定対策事業照合事務担当者会議	オンライン参加
5. 16	令和7年度いわて純情野菜販売対策会議	ホテル ニューカリーナ
5. 28	令和7年度岩手県青果物生産出荷安定協議会総会	第二産業会館
5. 28	青果物等価格安定事業に係る説明会	岩手ふるさと農協
6. 5	令和7年度花き販売対策会議	アートホテル盛岡
6. 18	果樹事業に係る東北ブロック説明会	オンライン
6. 30	第27回全国果樹技術・経営コンクール岩手県事務局員会議	第二産業会館
7. 4	令和7年度岩手県農業保険加入推進協議会第1回通常総会及び第1回加入推進会議	岩手県農業共済組合
7. 10	第51回東北・北海道青果物価格安定対策事業連絡協議会（～7/11）	山形県
9. 11	令和7年度九州・沖縄と北海道・東北地区協会の交流会（～9/12）	アートホテル盛岡
10. 27	第41回果実基金制度落葉果樹連絡協議会（～10/28）	青森県
11. 6	令和7年度特定野菜等供給産地育成価格差補給事業実態調査	第二産業会館
11. 7	令和7年度特定野菜等供給産地育成価格差補給事業実態調査（現場視察）	新岩手農協
11. 13	令和7年度東北・北海道青果物価格安定対策事業連絡協議会職員会議	プラザおでって
12. 23	令和7年度補正国産野菜周年安定供給強化推進事業の公募説明会	オンライン参加
2. 13	令和7年度道県果実基金協会等業務運営協議会	オンライン参加
2. 26	令和7年度東北・北海道青果物価格安定対策事業連絡協議会事務局長会議	北海道
3. 4	令和8年度国産野菜周年安定供給強化推進事業の公募説明会	オンライン参加
3. 9	令和7年度第2回通常総会及び第2回加入推進会議	岩手県農業共済組合

Ⅲ 総会及び役員会

1. 総会

(1) 第 55 回定時総会

ア 日 時 令和 7 年 6 月 27 日 (金) 午前 10 時 40 分
イ 場 所 盛岡市大通一丁目 2 番 1 号 産業会館 7 階大ホール
ウ 出席者 51 会員 (本人出席 11 会員、委任状出席 40 会員)
エ 議 事
議 案
第 1 号議案 令和 6 年度計算書類及び財産目録の承認について
第 2 号議案 役員の選任について

2. 役員会

(1) 第 1 回理事会

ア 日 時 令和 7 年 6 月 10 日 (火) 午前 10 時 25 分
イ 場 所 盛岡市大通一丁目 2 番 1 号 産業会館 5 階 特別会議室
ウ 出席者 理事 7 名 監事 2 名
エ 議 事

(ア) 議 案

第 1 号議案 ブロイラー価格安定対策事業業務方法書の一部改正について
第 2 号議案 令和 6 年度事業報告、計算書類及びその附属明細書、財産目録並びに資金収支計算書の承認について
第 3 号議案 令和 6 年度収支相償の計算書、公益目的事業比率の計算書、遊休財産額の計算書及び公益目的取得財産残額の計算書の承認について
第 4 号議案 ブロイラー価格安定対策事業に係る保証基準価格及び保証下限価格の改定について
第 5 号議案 第 55 回定時総会の招集及び付議すべき事項について

(イ) 職務の執行状況報告

(2) 第 2 回理事会

ア 日 時 令和 7 年 7 月 14 日 (月)
イ 方 法 決議の省略
ウ 同意者 理事 11 名
エ 確認者 監事 3 名
オ 議 事
議 案

第 1 号議案 果樹農業生産力増強総合対策事業業務方法書の一部改正について
第 2 号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の処理について

(3) 第3回理事会

ア 日 時 令和7年11月7日(金) 午前10時55分
イ 場 所 盛岡市大通一丁目2番1号 産業会館 5階 特別会議室
ウ 出席者 理事10名 監事1名
エ 議 事
議 案
第1号議案 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業業務方法書の一部改正について
第2号議案 青果物等価格安定対策事業業務方法書の一部改正について

報告事項

- (ア) 職務の執行状況報告
- (イ) プロイラー価格安定対策事業の終了について
- (ウ) 外部理事及び外部監事の設置について

(4) 第4回理事会

ア 日 時 令和8年3月24日(火) 午前10時25分
イ 場 所 盛岡市大通一丁目2番1号 産業会館 5階 特別会議室
ウ 出席者 理事6名 監事2名
エ 議 事
(ア) 職務の執行状況報告
(イ) 議 案
第1号議案 役員選任規程の一部改正について
第2号議案 令和8年度事業計画書、収支予算書、資金収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み並びに公益目的事業の種類及び内容について
第3号議案 調整積立金の普通財産への繰入について
第4号議案 令和8年度借入金限度額について
第5号議案 事務局長の選任について

(7) 監事監査

ア 日 時 令和7年5月20日(火) 午前11時
イ 場 所 盛岡市菜園一丁目4番10号 第二産業会館 209号会議室
ウ 監査事項 令和6年度業務監査

IV 会員数及び長期預り金

(単位：千円)

	会員数	長 期 預 り 金			
		肉用子牛	青果物	果 実	合 計
(公財)中央果実協会	1	—	—	15,000	15,000
岩 手 県	1	350,000	139,550	7,500	497,050
市 町 村	33	176,920	62,850	—	239,770
全国農業協同組合連合会	1	70,000	40,890	2,100	112,990
岩手県信用農業協同組合連合会	1	41,000	8,140	600	49,740
全国共済農業協同組合連合会	1	14,600	3,820	300	18,720
農 業 協 同 組 合	10	48,460	44,850	5,390	98,700
(一社)岩手県配合飼料 価格安定基金協会	1	2,230	—	—	2,230
(公社)岩手県農産物改良 種苗センター	1	—	—	50	50
岩手県農業協同組合中央会	1	—	—	—	—
合 計	51	703,210	300,100	30,940	1,034,250

参考：長期預り金市町村別・農協別明細表

(市町村)

(単位：千円)

	肉用子牛	青果物	果 実	合 計
盛 岡 市	8,120	10,860	-	18,980
宮 古 市	6,710	2,460	-	9,170
大 船 渡 市	2,030	1,310	-	3,340
花 巻 市	10,360	4,650	-	15,010
北 上 市	3,980	2,190	-	6,170
久 慈 市	3,930	1,360	-	5,290
遠 野 市	9,760	1,860	-	11,620
一 関 市	31,190	3,940	-	35,130
陸 前 高 田 市	850	790	-	1,640
釜 石 市	1,640	2,150	-	3,790
二 戸 市	5,000	2,120	-	7,120
八 幡 平 市	9,130	5,210	-	14,340
奥 州 市	30,100	4,660	-	34,760
滝 沢 市	2,360	1,350	-	3,710
雫 石 町	8,580	1,190	-	9,770
葛 巻 町	1,890	920	-	2,810
岩 手 町	3,620	1,990	-	5,610
紫 波 町	5,740	2,600	-	8,340
矢 巾 町	2,880	1,770	-	4,650
西 和 賀 町	3,220	180	-	3,400
金 ケ 崎 町	4,440	430	-	4,870
平 泉 町	2,570	250	-	2,820
住 田 町	1,160	300	-	1,460
大 槌 町	980	580	-	1,560
山 田 町	960	600	-	1,560
岩 泉 町	3,580	510	-	4,090
田 野 畑 村	650	220	-	870
普 代 村	640	140	-	780
軽 米 町	2,820	730	-	3,550
野 田 村	580	170	-	750
九 戸 村	1,380	560	-	1,940
洋 野 町	2,800	900	-	3,700
一 戸 町	3,270	3,900	-	7,170
計(33)	176,920	62,850	-	239,770

(農 協)

(単位：千円)

	肉用子牛	青果物	果 実	合 計
新 岩 手 農 協	16,580	16,690	1,270	34,540
岩 手 中 央 農 協	3,230	8,040	1,510	12,780
花 巻 農 協	7,870	8,540	320	16,730
岩手ふるさと農協	4,820	3,540	70	8,430
岩 手 江 刺 農 協	3,850	2,480	40	6,370
いわて平泉農協	9,260	3,050	1,110	13,420
大 船 渡 市 農 協	1,230	2,510	1,070	4,810
岩手中央酪農協	770	－	－	770
九 戸 畜 産 農 協	30	－	－	30
岩 手 花 平 農 協	820	－	－	820
計(10)	48,460	44,850	5,390	98,700